

2024 年 7 月 27 日(土)午後 2 時-4 時

発表 四宮こころ

- ・ベートーヴェンの唯一のオペラ「フィデリオ」(ブイイ原作)』
第一稿『レオノーレ』は一八〇三年に着手され、翌年上演。
第三幕の冒頭のナレーションに劇中の主人公の悲嘆と孤独を表すために自分の「ハイリゲンシュタットの遺書」からとった絶望的な神へのよびかけをとりいれ、それと並べてゲーテの『エグモント』からのせりふを数行引用。

「ああ、[主人公にとって]精神における兄ともいうべき人の次のようなことばを聞くことができたら！」という説明を挿入しているのです。

—2018年 演奏:Berliner Philharmoniker 指揮:Paavo Jarvi

- ・ゲーテ作品「エグモント」よりベートーヴェン作曲
1810 年。序曲と九曲の音楽をつける。王宮劇場からの委嘱だったにもかかわらず、「この詩人 [ゲーテ]への愛からだけ作曲した」ことを示すために、その報酬を辞退。

—1981 年 演奏:ウィーンフィルハーモニー管弦楽団 指揮:レナード・バーンスタイン